

## 令和元年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村 名	大桑村
----------	-----

No.	事業項目	事業名
1	「森林を支える豊かな地域づくり」に関する事業	令和元年度森林づくり推進支援金事業（松くい虫被害防除等病害虫防除）
事業費 1,452,000円（うち支援金：662,000円）		

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

#### (1) 地域の森林・林業の現状と課題

松くい虫地区保全森林であり、現在まで、松くい虫の被害は出ていない地域であるが、何らかの原因で松の大径木（胸高 1.8～2.0m・樹高 25～30m）が枯損している。

検体調査でマツノザイセンチュウは検出されなかったが、マツノマダラカミキリの幼体にとっては格好の餌場であり、個体数の増加に寄与してしまうことが懸念される。また、15m以内の箇所には JR 中央線が通っており、今後風雨により、倒木となった場合は公共交通（ライフライン）への影響が考えられる。

#### (2) 本事業の目的

枯損している松の伐採。マツノマダラカミキリの幼体が存在する可能性もあるため、燻蒸処理を現地にて実施する。

### 事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

#### (1) 実施場所 大桑村大字須原

- (2) 対象者 地権者 1 名  
地域住民 400 名

#### (3) 実施方法

伐採木が JR の線路に近いことから、通常の伐倒では影響が考えられる。クレーンの持込も難しいことから、ウィンチにより、吊おろしながらの伐倒を行う。周辺支障木についても同様の伐倒方法を実施し、伐倒方向が JR に影響するものはチルホールにより牽引する

伐倒後、松については燻蒸処理を行う。

#### (4) 事業目標及び当年度事業量

##### ①全体計画

松 1 本、支障木（ヒノキ） 11 本

##### ②平成 年度実績

松 1 本、支障木（ヒノキ） 11 本



## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施の効果

公共交通（JR）の安全確保と景観の向上  
森林病虫害に対する森林所有者の意識向上

### (2) 継続性

松くい虫の原因であるマツノザイセンチュウの媒介者であるマツノマダラカミキリの産卵場所の減少及び、棲みついた幼体の駆除による個体数の減少が考えられ、森林病虫害に対する一定の継続性が考えられる。

### (3) 普及性

国道、県道並びに商業施設駐車場からも枯損木がよく見える状況であるため、伐採後の状況は目に見える形となる。また、公共交通機関に対して森林病虫害による枯損木の危険性についての啓発に繋がると考えられる。

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

商業施設から見えた枯損木が見えなくなり景観向上が図られた。  
公共交通（JR）に対する一帯の立木に対する整備の必要性が説明できた。

### (2) 課題

地権者の森林病虫害に関する意識や知識は一定以上の向上が図られたと考えられるが、今回関係のなかった地域住民の病虫害に対する意識向上をどう行っていくのかが課題。

また、今回の施業箇所は住民が簡単に近づける場所ではないため、森林税のPRをどのように行うのかも課題。

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

事業完了の為